



安心とやすらぎを感じられる環境づくり

● 現状と課題 ●

本格的な高齢化社会を迎え、安心して住み続けられる住宅環境がますます求められています。また、住宅の機能向上や暮らし方の工夫などにより、環境負荷の低減を実現していくことも、居住環境を考える上で重要な観点となっています。高齢者や障がい者をはじめ、誰でも安全で快適に生活できるようユニバーサルデザイン¹³のまちづくりの観点を取り入れつつ、新たな住宅及び居住環境の施策の検討が必要となっています。あわせて、倒壊の危険が伴う特定空家等¹⁴に対する対策が求められることから、空き家の状況を的確に把握し、有効な方策を取り入れていくことが必要です。

町斎場については、平成2年に建設された火葬場は、火葬炉等設備の老朽化が顕著になっており、安全で安定的な火葬業務に支障をきたさないようにしていく必要があります。また、葬祭会館についても葬儀に対する考え方の変化に合わせた運営が求められています。

● 目指す方向 ●

- ① 人と環境にやさしい居住環境づくりをします
- ② ユニバーサルデザインのまちづくりをします
- ③ やすらぎのある斎場の運営を行います

● 関連する個別計画 ●

- ・ 菰野町空家等対策計画 (①)
- ・ 菰野町公営住宅長寿命化計画 (①)
- ・ 四日市広域緑の基本計画 (①②)
- ・ 菰野町都市マスタープラン (①②)
- ・ 菰野町障がい者福祉計画 (②)

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・ 倒壊の危険がある空き家の情報を提供する ・ 地域コミュニティ内の連携を図り、空き家が放置されない環境をつくる ・ 周辺環境に悪影響を及ぼす空き家とならないよう自己管理に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災、防犯、居住性に配慮した住まいづくりに関する情報提供を行う ・ 高齢者や障がいのある人に配慮した住宅の普及に努める ・ 公共施設の新設、改築などの際は、ユニバーサルデザインを配慮する ・ 安らぎのある斎場の運営に向けて、補修など適切な維持管理を行う